

県内経済の動き

概況

〔2020年10月～2020年12月の動き〕

引続き新型コロナや鳥インフルエンザによる経済への影響を注視

鉱工業生産指数（10月）は13カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（11月 細島港）は9カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（11月 全店ベース）は2カ月ぶりに前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（12月）は3カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（11月）は2カ月ぶりに前年同月比増加し、公共工事（12月 保証対象請負総額）は3カ月ぶりに前年同月比増加した。有効求人倍率（11月）は前月比横ばいの1.15倍で、12月の企業倒産は前月比1件減の2件、負債額は同5億66百万円減の3億30百万円となった。

新型コロナ感染者の急増や鳥インフルエンザが連続発生しており、県民の活動自粛による県内経済への影響が懸念される。